

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度 の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 15 日

(Do) 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>桜川市の自主財源確保に努めることを目的に、民間広告会社の長田広告と協力し企業広告つきのテレビモニターを各庁舎に設置し放映を行います。これにより、一定期間（協定期間：5年間）安定した収入が得られるとともに、モニターを利用して行政情報を市民の方に発信できます。</p>	<p>コミュニティビジョン開始初年度は、事業実施にともなう協定書の作成および民間企業の広告の審査事務。</p> <p>また、行政情報も放映できる枠が設けてあるため、関係各課に放映の募集案内などを行い、放映する行政情報を取りまとめて、長田広告に申し込みます。</p> <p>長田広告への年間放映料の請求については、3月末ごろに納付書を作り送付します。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
平成27年度は、協定更新の時期のため、長田広告と協定内容を調整し、再協定を行いました。 また、毎月の行政情報掲載作業を行いました。	打ち合わせ	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	募集(行政情報枠)	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市に入る放送料 市役所に来庁した市民の方	市人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
	広告主となった企業数	社	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
一般財源を増やす(広告料が入手できる) 行政や企業からの情報が入手できる	市に入る広告料	円	362,880.00	371,154.00	412,646.00	412,646.00	412,646.00
	情報の発信回数(企業数×12か月)	回	132.00	132.00	132.00	132.00	132.00
	住みやすい住環境であると答えた方	%	47.60	52.40	55.00	55.00	55.00

(3) 投入量(事業費)の推移

(C) 投入量(事業費)の内訳		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	総投入量
事業費 投 入 量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費 投 入 量	正規職員従事人数	人	100人	200人	200人	200人	200人
	述べ業務時間	時間	25.00	100.50	50.00	50.00	50.00
	人件費計(B)	千円	73	292	145	145	145
	外注料金(△)(D)	千円	78	260	145	145	145

(4) 当該年度の実施内容
※下記に該当する事業は

度ごとに事業内容を記入する	
<ul style="list-style-type: none">・主要事業・市長マニフェスト・未来PJ事業・合併建設計画事業	➡

事務事業名	桜川市コミュニケーション設置事業	事務事業No.	10301000874	所属課	秘書広報課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成22年2月～モニター放映開始（笠間市、那珂市で導入されたことから検討した）。平成26年4月から消費税増税（5%→8%）により契約額を変更した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 事業開始に対する市からの支出はゼロであり、放送料は一定期間決まって入ることから市の自主財源の確保に結びつくためよいのではないか。					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

評価項目	
①政策体系との整合性	（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている モニター使用により、来庁した市民の方に行政情報も発信できるため広報機能を果たしています。
②公共関与の妥当性	（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の方が集まる市役所で情報を発信できます。市からの費用はゼロです。放送料の収入もあります。
③成果の向上余地	（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 一定期間、決められた放送料が実施業者から納められます。
④廃止・休止の影響	（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の収入が減少します。庁舎内の市民の方への情報発信が少なくなります。
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性	（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> （他に手段がある場合）➡ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない
⑥事業費・人件費の削除余地	（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はないです。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地	（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市からの経費は無しで、収入が発生する本事業は、市民への情報も無料で行える適正な事業です。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	企業の協力もあり市の自主財源の確保が図れました。																				
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 ➡ <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>X</td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		○	X	低下	X	X	X
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
維持		○	X																		
低下	X	X	X																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 (6) コスト削減優先度評価結果 (8)																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う）	（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>